一般社団法人 日本損害保険協会　第９次中期基本計画（2021～2023 年度）

■第９次中期基本計画は、損害保険業界がお客さまを支えるリスクの担い手として社会的役割を発揮し持続的に成長するために、損害保険業の健全な発展と信頼性の向上に資する事業を引き続き安定的かつより生産性高く運営しつつ、次の３か年で取組みを強化すべき重点課題とその解決に向けた対応方針について策定したものである。

■策定にあたっては、環境認識・事業の位置づけ・取組みの方向性・期待される役割を踏まえるとともに、課題解決に取組む効果や独自性を考慮した。

■重点課題の達成・実現を図ることで、お客さまはもとより、全てのステークホルダーへの貢献と SDGs の達成を目指す。

環境認識
①社会経済：超高齢社会、サイバーリスク等
②地球環境：地球温暖化に伴う自然災害、巨大地震等
③技術革新：自動運転、AI、ロボット、5G 通信等
④規制環境：顧客本位の業務運営、グローバル規制等
⑤消費者意識：消費者行動の多様化・デジタル化等
⑥新型コロナウイルス：新しい生活様式の浸透等

日本損害保険協会が実施する事業の位置づけ
①会員会社個社では実現が困難な事業
②業界団体として取組む方がより効率的・効果的な事業

「損害保険業界の将来」に向けた取組みの方向性
①環境変化への迅速・的確な対応
②お客さま視点での業務運営の推進
③より強固で安定的な保険制度の確立
④国際保険市場におけるさらなる役割の発揮

日本損害保険協会が期待される役割
①品質向上への貢献
②業務効率化への貢献
③事業環境整備への貢献
④市場環境整備への貢献

日本損害保険協会の３か年の重点課題

－　日本損害保険協会の３か年の重点課題　－

重点課題	①持続可能なビジネス環境の整備	②災害に強い社会の実現	③損害保険リテラシーの向上
対応方針	・新しい生活様式（書面・押印・対面手続きの見直し等）、国内外の基準・規制への対応 ・デジタル技術の活用による効率化推進・利便性向上 ・社会環境・自然環境変化に伴うさらなる役割の発揮（気候変動への対応等）	・強靱なまちづくりへの貢献 ・自然災害に対する業界共同取組み ・災害に乗じた悪質商法への対応強化 ・事業者向け保険の普及促進	・教育機関・行政・有識者との関係構築、金融他団体との連携強化 ・高校生への教育の充実 ・教育ツールのデジタル化・手法の改革